

北播磨地域ビジョン委員会「文化が花開く分科会」第6回記録

1 日 時：令和3年1月21日（木） 13：30～14：30

2 場 所：加東市社福祉センター ボランティア会議室

3 参加者：4名

4 内 容：

○本日の分科会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が出ている影響もあり、出席者が4人なので、下記項目について、メールや郵送にて皆さんの意見を伺うことにしました。

(1) 北播磨の「祭り」について

① 各市町から情報提供されている“祭り”に、神事等が含まれているがこれを“祭り”としてよいのか

② ①の件を考慮しながら、パンフレットのタイトル案を5つ程度。

例：未来の子供に残したい“北はりまの伝統文化30選”
大切にしたい故郷の伝統“北播磨まつり30選”

③ パンフレットに掲載する伝統行事“祭り(?)”を各市町から5つ程度に絞って推薦

(2) 郷土歴史セミナーと現地学習について

○ 各市町の資料館、教育委員会等の担当者とセミナーの概要について打ち合わせ状況の報告

(3) 北播磨ゆかりの作家、芸術家の掘り起こしと講演会等について

現在、以下の有名人の名前が挙がっています。

西脇市 トータス松本（ミュージシャン）

中西良太（俳優）

臼井三平（数学者）

十倉好紀（物理学者、ノーベル物理学賞候補）

十倉雅和（住友化学代表取締役）

三木市 玉岡かおる（作家、いなみ野ため池協議会会長）

園田 涼（ピアニスト、音楽家）

加東市 榎倉香邨（エノクラ コウソン、書家、97歳）

加西市 永田 萌（絵本作家）

○ 新たな情報